

【内装専用】

ジョリパットゼロシリーズ  
ピアット黒仕上げ  
施工の手引き

**適用品番**

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	ジョリパットシーラー JS-90	1液水系アクリル白色シーラー	10kg/ ポリ容器	約40 m <sup>2</sup>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
下塗り材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ JP-100TBK(黒)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約11 m <sup>2</sup>
中・ 上塗り材	ジョリパット JPX-7	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗料	15kg/缶	約19 m <sup>2</sup>
骨材	JF-25	黒ケイシャ	25kg袋入	約15 m <sup>2</sup>
	JF-61	ガラスビーズ 小	25kg缶入	約21 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい(別列 JS-500、JS-800、石膏ボード JS-90 など)。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のイカ工業㈱各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・仕上げコテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・ステンレス製練り桶
- ・ゴムゴテ

< 下地調整 >

石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタル (金ゴテ押え) など。

<ピアット仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-90の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.25kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー、刷毛	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2. 着色下塗り(1回目)  
(下地調整)

・JP-100TBK(黒限界色)を無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。この時、ボードのパテ処理部分の不陸調整等を兼ねる。

夏期 6時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい

3. 着色下塗り(2回目)

配 合	JP-100TBK	20kg
	(黒限界色)	
	JF-25	10kg
	清 水	1~1.5%
塗 布 量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて材料をしごくように塗布し、 コテ波が残らないように押さえる。 (図-1)	

夏期 6時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

4. タックコート

・ J P X - 7 を無希釈で  $0.2 \text{ kg} / \text{m}^2$  となるようゴムゴテにて薄く塗布する。  
施工道具 ゴムゴテ  
塗布量が多いと、上塗り時にフラットに仕上げにくくなります。

追いかけ (5分以内)

5. 主材 上塗り

配 合	J P X - 7	10 kg
	J F - 6 1	20 kg
	J F - 2 5	20 kg
塗 布 量	約 $3.0 \text{ kg} / \text{m}^2$	
施工道具	仕上げゴテ 仕上げゴテにて材料を均一に配る。	

追いかけ (5分以内)

6. 押さえ (仕上げ)

・ 仕上げゴテで表面を柔らかく押さえ、平滑になるように仕上げる。(図 - 2) 仕上げゴテを常にきれいに保つ。

<施工のポイント>

- ・上塗りでは表面を仕上げゴテで平滑に、コテ波が残らない様円状又はランダムに柔らかく押さえてください。(図-1)

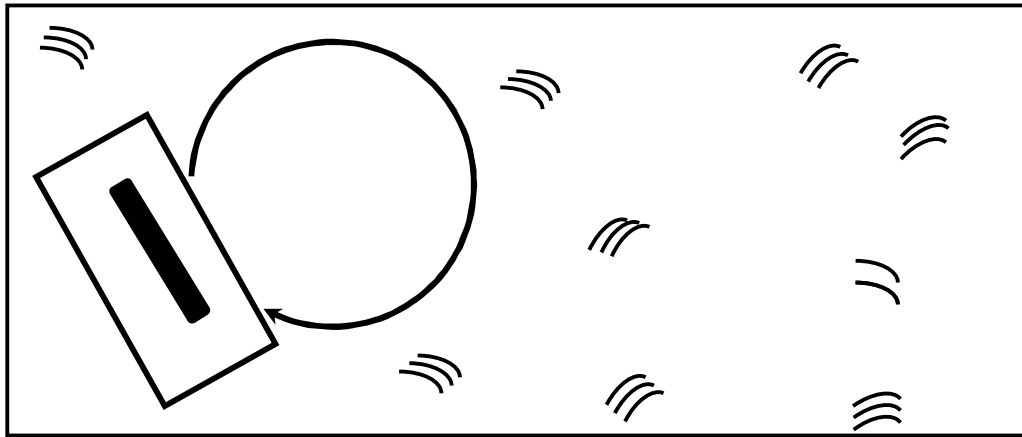


図 - 1

- ・上塗りを塗布ムラがないように施工し、追いかけ（5分以内）で表面を軽く、柔らかい仕上げゴテにて1～2回程度押さえ、フラットに仕上げます。

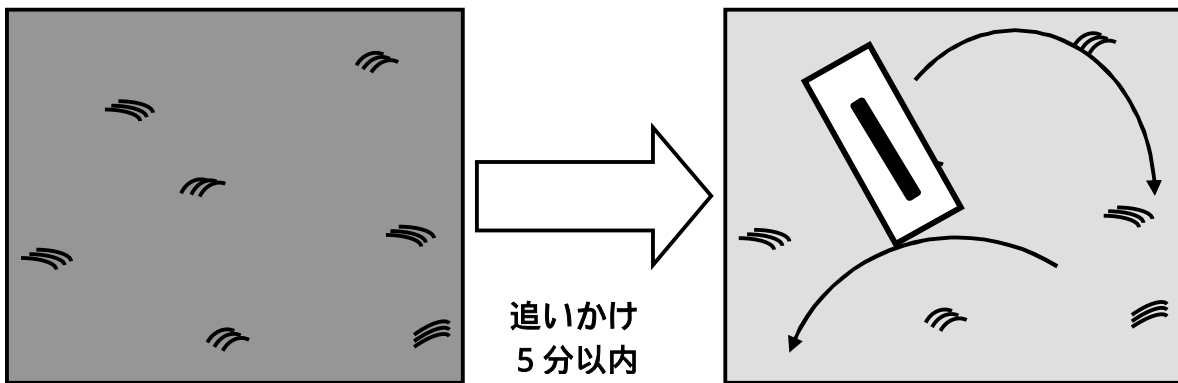


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・表面が乾燥してから押さえると仕上がりが悪くなります。  
(表面に樹脂を引きずった跡が出ます。)
- ・錆が出ているコテは絶対に使用しないで下さい。  
(壁面に錆が残ります。)  
特に主材上塗りおよび押えの工程ではステンレスのコテを使用してください。
- ・内装専用仕上です。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 85%以上、結露などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上